

平成21年度 社会福祉法人 多摩同胞会事業報告要約総括

	法人事務局	高齢者施設					母子施設		
		泉苑	あさひ苑	緑苑	かんだ連雀	岩本町ほほえみプラザ	きずな	しらとり	たっち
平成21年度 事業計画 重点ポイント	1 社会福祉法人としての組織体制の整備 経営体制（理事長を中心とした理事会機能、常任委員会） 事務局と施設の役割分担と連携・協働 2 社会福祉法人を担う職員の育成 3 法人理念と日常業務、制度を踏まえた家族支援システムの定着 4 福祉の立場から、「生きる、老い、死」について考える年とする	1基本方針の理解と利用者本人の再認識 2重介護者の過ごし方の取組 3介護医療の連携強化 4 特養の医療のあり方や死生観等を議論 5 府中5地区の地域性、在宅高齢者の事業展開 6 人材確保と定着資格取得の促進 7 新調理システム導入 8 安全対策等リスク管理 9 地域包括支援センター受託準備 10. 建物の計画的修繕	1 組織づくり 2 人材育成 3 サービス向上 4 リスク管理 5 地域包括支援センター受託	1 主体的な生活、自主性を引き出す養護老人のあり方を追求する 2 小規模特養のゆとりある暮らしの実現 3 職員確保、育成、定着 4 施設リスク対応強化 5 在宅支援センター機能発揮 6 地域ボランティアの育成と相互協力	1 岩本及び各事業との連携 2 職員確保 3 職員育成と定着 4 地域との連携 5 各事業のアセスメント	1 地域包括支援センター かんだ連雀との連携 2 人材確保 3 人材育成と定着 4 新規事業の円滑な運営 5 防災訓練の充実 6 在宅利用者の医療ニーズの検討	1 安心・安全の提供 2 利用者によりそった支援 3 資源を大切に 4 基本的な生活の向上 5 入所率アップの検討 6 民間移譲に向けた取り組み 7 自立支援計画活用 8 職員育成	1 安心安全の場の提供 2 職員の連携 3 制度の理解 4 夜間職員体制の充実 5 在宅サービス事業の検討 6 あるべき施設の検討 7 個別支援計画による自立支援 8 ノー残業デイ実施 9 計画的な建物保守管理	1 安心安全の場の提供 2 子育て関連情報の把握・発信 3 しらとりとの連携 4 チームワーク向上 5 具体的支援案検討
平成21年度 事業執行状況	1. 法人 定款施行細則抜本的見直し 常任委員会による実質的審議 事務局体制整備 家族支援システム定着化を図る 「生老死」講演会開催 2. 管理 評議員の改選 諸規程整備 人事制度委員会・財務委員会による経営基盤強化検討 東京都指導検査対応 監事監査実施 3. 財務 資金集約運用 介護保険制度の財務管理 事務局業務集約の推進 4. 庶務 労務管理の徹底 人材確保の取り組み 処遇改善交付金支給対応 ・入職 25人 ・退職 26人（離職率6.3%） ・休職 産休9人・育休5人 ・採用試験 7回 ・昇格 26人 5. システム 事業推進連携家族支援システム運用 人事管理システム活用促進 サーバー運用計画整理 サーバー室課題整理 システム保守体制課題整理 6. 事業推進 事業計画体系化基盤整理 家族支援システム機能伝達 会議体系、メンバー及び組織的な業務遂行のサーバーバイズ 7. サービス共通部門 公開講座開催 サービス評価項目見直し 各施設運営会議で現状把握と課題共有	1. 運営・管理 事務局集約により事務を軽減させた 建物診断、耐震診断を実施した 資格取得を働きかけた 厨房改修工事実施 2. 在宅介護支援センター 相談件数4686件 第5地区把握率91.6% 支援センターだより配布 地域との協力体制を築いた 3. 居宅介護支援センター 在支との協働 ミーティングによる業務共有と標準化 4. デイ 稼働率71.1% 重度化の進行 利用定員の変更と営業日見直し プログラムを工夫した 5. 通所外 入浴設備改善を延期した 予防推進におけるKC、支援センター連携 地域デイは5会場、63名登録 6. ホーム 稼働率95.6% 会議進行、ケアプラン内容レベルアップを図る 機能訓練担当との連携 余暇活動の継続実施 7. ショート 空き情報発信 利用者家族高齢化への対応検討 緊急ケース受け入れ 8. 看護 年間計画での健康管理 苑内での看と増加 研修、早期対応による感染症予防 9. 訓練 訓練メニュー計画的実施に努力した 個別機能訓練実施計画概ね実施 10. 食事 咀嚼、嚥下を考慮した食事提供 ソフト食に取り組んだ 改修工事による衛生管理を徹底 厨房を整備した	1. 運営・管理 予算の計画的執行 規程遵守による労務管理 産業医指導によるメンタルヘルス対策 実習生延べ246人 ボランティア延べ2023人 2. 在宅介護支援センター 相談件数3563件 認定調査448件 地区ケア会議16回 予防健診479人 3. 居宅介護支援センター ケアプラン総数2688 予防プラン368 4. デイ 稼働率76.2% 新規利用過去最高73人 チームによる連携 地域デイ延べ4428人 事業推進延べ2646人 5. 訪問介護 利用者減少 予防介護も減少 困難ケース取組 6. ホーム 稼働率93.1% 高齢化・虚弱化 定期的なユニット会議 ボラ受入で様々な活動実施 新人職員の育成 7. ショート 稼働率116% 重介護者減 期間延長、空床調整を柔軟に実施 8. 看護 継続的な体調管理 医療対応者の生活看護の模索 感染予防研修実施 9. 訓練 日常生活動作維持改善の訓練 福祉機器研究会との連携 10. 食事 おいしく安心安全な食事づくり 新調理の安定で個別対応、嚥下食開発	1. 運営・管理 事務局との連携による業務遂行 規程遵守による労務管理 サービス充実のための研修会実施 家族支援システム課題確認 応援隊活動2年目、懇談会2回 2. 地域包括支援センター 高リスク者に重点的に対応 虐待防止判断基準は次年度課題へ 特定高齢者へのフォローアップ事業提案 医療介護連携モデル事業実施 3. 居宅介護支援センター 困難ケース緊急対応受け入れ 医療ニーズケースの受入 ちよだケアマネ連絡協議会運営委員として情報収集 4. デイ 稼働率69.4% サービス担当者会議による情報共有 プロフィールシートの活用は次年度課題 入浴希望に体制的の応えられず 5. ホーム(特養) 稼働率98.6% 個別援助実践 生活空間の環境整備 福祉用具の対応 6. 自立ショート フェイスシートで情報共有 緊急入所に柔軟対応 7. 看護 健康管理充実 重度化に対応 感染予防対策充実 8. 訓練 個別機能訓練計画に基づいた訓練実施 自助具提供管理 9. 食事 衛生環境保持 看護・介護との連携 ほっとサロン、昼食会等の食事提供	1. 運営・管理 事務局との連携による業務遂行 規程遵守による労務管理 近隣医療機関との連携強化 高齢者住宅の生活協力員業務受託 2. 地域包括支援センター 高リスク者に重点的に対応 虐待防止判断基準は次年度課題へ 特定高齢者へのフォローアップ事業提案 医療介護連携モデル事業実施 3. 居宅介護支援センター 困難ケース緊急対応受け入れ 医療ニーズケースの受入 ちよだケアマネ連絡協議会運営委員として情報収集 4. デイ 稼働率69.4% サービス担当者会議による情報共有 プロフィールシートの活用は次年度課題 入浴希望に体制的の応えられず 5. ホーム 稼働率91.5% 委員会・研究会で専門的検討 職員体制を拡充し質の向上を図る 計画的モニタリングとケアプラン作成 6. ショート 個別援助計画書式見直し 情報共有の徹底 稼働率114% 7. 看護 嘱託医との連携 重度化に対応 研修開催 8. 食事 お楽しみ食提供 食べやすい食事提供 職員の育成	1. 運営・管理 家族支援システムによる実績確認 適切な労務管理に努めた 総合相談によるショート受入 連雀との連携 2. 区民施設 環境整備 地域の協力 地域の福祉拠点として多方面に利用 3. デイ 稼働率75.4% 入浴・機能訓練ニーズに応えられない 認知症対応利用実績減 介護予防教室への参加増 4. 健康回復支援ショート 広報により利用率アップ 長期滞在ケースあり 5. ケアハウス 稼働率91.5% 入居者募集手順・書類整備 6. グループホーム 稼働率97% 研修を毎月開催 家族参加の行事企画 7. ショート 稼働率104.8% プランに同意を得る ケースファールの整理 荷物管理方法の工夫 8. 看護 主治医と連絡調整、情報収集 感染症予防研修実施 個別ファイル作成 9. 食事 お楽しみ食提供 衛生管理の徹底 厨房改修工事実施	1. 運営管理 関係機関への情報提供 民間移譲業務遂行 エコ活動の周知 懇談会・会議による利用者意見収集 警察防犯隊による防犯講習会実施 住環境の改善 家族支援システムデータ入力 コスト管理、業務省力化実施 2. 母親に対する支援 職員複数体制による連絡調整 就労支援により7割就労 DVケアに積極的に取り組む 地域交流行事実施 地域資源回収に協力 3. 学童に対する支援 基本的な生活習慣獲得支援 季節、自然環境を活かした活動 心理職参加による情報共有 個別の学習支援 登下校の安全管理 4. 乳幼児に対する支援 施設内保育体制の充実 個別対応による信頼感 苑外活動による情緒安定 個々の相談に応じた柔軟な保育 安心できる関係づくり 5. 地域活動 地域活動に積極的に参加 緊急一時保護36世帯 DV被害者入所83.3% 6. 食事 季節の食材 食事を通してのマナー教育 毎月簡単な料理紹介	1. 運営管理 安心安全な建物の維持管理 職員の心のケア コスト管理 利用者視点のサービス推進 研修によるスキルアップ 家族支援システム活用開始 2. 子ども家庭支援センター 新規相談82件・虐待0件 オープンルーム24回・1733人参加 NP7プログラム2回・38組母子参加 ミニルーム、テーマ別で実施 3. 病後児保育 登録59人・のべ12人利用 市と協議の上H21年度で事業終了 4. 母親に対する支援 自立に向けて支援 心のケア 就労支援 若年層母親の子育て支援 5. 学童に対する支援 仲間意識の育成 学校、関係機関との連携 豊かな感情の醸成 自主性育成 成長に合わせた支援 6. 保育に対する支援 月例に合った保育計画 安全な寮内保育 寮内保育児と通園児の交流 7. 食事 旬の食材献立・味覚の形成 衛生管理 アレルギー代替食対応 8. サービス事業 トワイライト1691人 844人減少 ショート91人 緊急一時保護190人	1. 運営管理 府中市中核施設として定着 防災訓練毎月実施 不審者対策として警備体制強化 個人情報管理研修実施 ボランティア145名受入 子育て交流会、講座等開催 2. 総合相談事業 新規相談582件・虐待32割 ひろば登録で予防的関わり 3. ひろば事業 登録39000人・市外58% 環境整備により安全確保に努める 新型インフルエンザの影響あり 利用児は3歳以下93% 季節行事実施 4. リフレッシュ保育 新規登録421人 利用延べ1716人 保護者に共感し個別のかかわり 研修によるスキルアップ 5. ファミリーサポート 新規登録278人・会員1255人 活動5180件 学校送迎 1816件 事業説明会充実 会員の交流の場づくり 定例会11回・交流会2回 ホームページ等で広報活動
平成22年度 事業計画 重点ポイント	1 長期的な財務計画作成 を作成する（22年度） 2 人材育成（キャリアパス）と 適正配置計画を作成する （22-23年度） 3 施設整備（22-23年度） を実施する 4 業務管理体制の整備 を図る（22年度） 5 家族支援システムを浸透 させる 6 平成23年度制度改正に 向けた準備（22年度）	1 事業ごとの責任体制、職員 個々の業務を明確にし、施設の 総合力を高める 2 介護報酬ベースの運営の中で 活用と法令遵守体制の充実 3 労働環境整備、職員育成 により職員のスキルアップを 図る 4 法人理念を意識し、個別ケア 自立支援、安全で穏やかな 生活環境を提供する 5 感染対策の徹底、転倒等 生活リスクには家族と充分話し 大規模修繕、耐震化工事は 安全対策を講じる 6 地域包括支援センターの 基本業務の確実な遂行 7 防災・防犯対策を強化する 日頃の訓練を通し、いざという 時の動きを身につける	1 長期的な組織作りを考え、人材 の育成に取り組み、揺るがない 組織基盤を作り上げる。 2 介護報酬ベースの運営の中で サービスの質の向上に取り組み る組織を作るための人材育成。 3 家族支援システムでの正確な 記録により3者によりわかりやすい サービスの実現 4 法人理念のもと、利用者の個々 にあった対応、生活環境の整備 等個別対応をめざす 5 2階、3階フロア改修工事により、 生活空間の検討を行う 6 防災訓練を徹底し、災害に 備える	緑苑施設整備(特養増築計画)の 1年目 1 特養増設計画の実施にむけ 利用者の安全確保と開設後の 運営方針の整理 2 人材確保と育成に努める 3 家族支援システム定着と 記録の充実を図る 4 情報共有化と責任体制の 明確化を図る 5 防災対策を強化する	1 各事業連携し、相談からサービスの 提供までの一連の支援を実施する 2 業務管理体制を整備し、法令 を遵守する 3 職員の育成・定着を構築する 4 地域との連携を図る 5 事業を検証する 6 防災・防犯対策強化に動める 7 半年度経常収支の黒字化を目指す	1 総合相談の窓口からかんだ 連雀、地域包括支援センター との情報を共有する 2 組織体制を整備する 3 家族支援システムの習熟 に努める 4 エコ活動を推進する 5 新規事業の円滑運営 に努める 6 防災訓練を充実させる 7 医療ニーズを検討する 8 半年度経常収支の黒字化 を目指す	1 安心安全な場を提供する 2 利用者によりそった支援をする 3 基本的な生活の向上を支援する 4 資源を大切に 5 自立支援計画の活用と 支援記録を充実させる 6 職員の育成を図る 7 23年度に向けた準備を進める 8 家族支援システムを浸透させる 9 5ヵ年計画と施設整備計画 を策定する	1 安心安全な生活の場 防犯、防災を徹底する 2 職員の連携を図る 3 法改正対応による利用者 支援に努める 4 土日、夜間体制の充実を図る 5 子ども家庭支援センター 事業を検討する 6 「あるべき施設」を検討する 7 自立支援計画に沿った 利用者支援、計画の定期的 見直しを図る 8 計画的な建物保守管理 を行う	1 安心安全な場を提供する 2 府中市子育ての中核施設 として情報を把握、発信する 3 しらとりとの連携を強化する 4 職員のスキルアップ 組織力強化を図る 5 新たな事業展開に向けた 検討を行う